

## 第30回 丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会合同会議 会議録

日 時 平成30年5月28日(月)  
午後7時から午後8時03分まで  
場 所 丸山公民館 2階 大会議室  
出席委員 丸山地区15名 和田地区18名  
欠席委員 丸山地区 1名 和田地区 3名  
傍聴人 なし

### 1 開会

それでは、皆さんこんばんは。お待たせをいたしました。大変お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

会議の進行を務めさせていただきます教育総務課学校再編整備室の岩浪と申します。よろしくお願いをいたします。

始めに、本日、和田地区の川名副委員長、鎌田委員、根本委員から所用により欠席との御連絡をいただいております。また、丸山地区の笹子委員は、少し遅れるということです。また、丸山地区の齊藤委員につきましては、まだお見えになっておりませんが、時間となりましたので会議を開催させていただきます。

それでは、ただいまから、丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第30回合同会議を開会いたします。次第に沿って進めさせていただきます。

### 2 次第の2、委嘱状の交付ですが、委員の委嘱につきましては、設置要綱第3条の規定により地区ごとに教育委員会が委嘱することとなっております。

今年度、委員の交代がございましたので、新たに委員になられた方に委嘱状を交付いたします。なお、委嘱状は、お名前を読み上げました後に、地区ごとに代表受領とさせていただきます。大変申し訳ございませんが、お名前を読み上げましたら自席にて一旦御起立し御着席ください。

始めに、丸山地区から行います。行政連絡員代表の齊藤貞雄様、鈴木順一様、御子神英雄様、南小PTA代表の加瀬直子様、嶺南中学校PTA代表の安田洋子様、南小学校代表の森田典子様、嶺南中学校代表の三平智子様、以上の7名でございます。

続きまして、和田地区となります。行政連絡員代表の相川泉様、高橋幸男様、庄司恒夫様、粕谷新悟様、南三原小PTA代表の天野厚様、和田小PTA代表の根本弘牟様、和田小学校代表の酒匂みどり様、嶺南中学校代表の三平智子様、以上の8名でございます。

それでは、丸山地区を代表して、行政連絡員代表の鈴木順一様お願いいたします。和田地区を代表して、行政連絡員代表の相川泉様に代表受領をお願いいたします。教育長が伺いますので、自席にて受領してください。

<代表受領>

ありがとうございました。

3 次第の3、委員紹介に移ります。委員の紹介は、自己紹介でお願いいたします。

<委員・事務局が自己紹介>

4 次第の4、検討委員長のあいさつですが、今年度最初の合同会議となりますので、両地区の委員長にあいさつをいただきたいと思います。まず、丸山地区の星谷委員長にお願いいたします。

<丸山地区星谷委員長>

では、改めまして、こんばんは。御紹介いただきました丸山地区の委員長ということでお世話になっております。

この委員会が始まってから、ずっと委員としてお世話になってきましたけれども、皆さんのいろいろな御努力と御協力をいただきまして、いよいよ最終年度を迎えたというような気持ちで感無量、感慨一入といったらいいでしょうか。そんな気持ちでいます。

オブザーバーに山田さんが見えてますけれども、最初の頃は、いろいろな貴重な意見を言っていただきましてですね、ここに来てるなあというようなそんな気持ちでおります。

皆様、工事現場ていうんですかね、嶺南中の近くを通ると目にすると思うんですけど。この後それについての説明があると思うんですけども、だんだんと形になってきてですね、なるほど、これは自分が想像していた以上にですね、なんか広くて立派な校舎ができそうだなという気持ちになります。期待が膨らむという感じでございましょうか。

今年最後の年度ということで、委員さんも何人か替わられました。今までの引継ぎを十分になさいまして、御理解を十分いただきましてですね、最後はしっかりと役目を果たしていきたいなと思いますので、よろしく御協力をお願いいたします。

進行 ありがとうございます。次に、和田地区の鈴木委員長にお願いいたします。

<和田地区鈴木委員長>

皆さんこんばんは。和田地区の委員長の鈴木でございます。

振り返ってみますと、和田地区の第1回の検討委員会が平成23年の11月に開催されまして、5回の検討委員会を開きまして、丸山地区との合同の検討委員会が平成24年の8月に開催されまして、いろいろと紆余曲折がございましたが、皆さん御承知のように、着々と現場の方は進んでいる現状でございます。

来年31年度の開校に向けて、また各専門部会委員の皆様方には、お忙しい中御検討をいただきまして、心より感謝申し上げます。新委員の皆様方にも開園、開校がスムーズにいきますよう、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

進行 ありがとうございます。

5 次第の5、教育長あいさつ。三幣教育長から、あいさつを申し上げます。

改めまして、こんばんは。教育長の三幣です。よろしく申し上げます。

新たに委員をお受けいただきましてありがとうございます。

委員長の方からありました、7年目に入ります。30回を超える会議を開いてますけど、当初からお付き合いいただいている方がかなりいらっしゃいます。

本年度で終わりということですが、私どもの思いとすると、この後が大変だなという思いでおります。例えば嶺南中がスタートして何年目になったのですかね。5年目ですか。当初、市長と私ども心配していたのは、学力的に市内の6番目と7番目の学校が統合して一緒になって、どんな学校になるんだろう。今正直に申し上げますと、当時は、学力的には7校あるうちの6番目と7番目でしたので、それが、見事に学力の面でも力をつけてきましたし、今年度に入りまして、部活動は、バスケットと野球が優勝。県大会にバレーボールも行くような話も聞いています。

嶺南中に限らないんですけど、千倉小学校、あるいは、富浦小学校、統合したあと、先生方が頑張ってくれまして、非常に落ち着いて、子どもたちが楽しいと言ってくれるような学校を作ってもらっています。

31年4月開校ですけど、私どもとすると新たにできる、幼・保・小・中、今まで以上に、子どもたちにとっては、日々楽しい場所。そして、力をつけていくような学校に今から準備を進めてやっていきたいと思っております。

今年度、皆様方をお願いするのは、専門部会で話し合ったことについて、皆さん方の御了解をいただくというようなことが中心になるとは思いますが、いろんな立場から忌憚のないところで御意見いただければ大変ありがたいと思っております。

よろしく願いいたします。

## 6 次第の6、報告等に移ります。

(1) 地区学校再編検討委員会について

(2) 丸山地区及び和田地区の学校等再編について（経過等）

までを一括して事務局から報告いたします。

事務局 それでは、報告の前に配付資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目が本日の会議次第、2枚目の丸山地区学校再編検討委員会委員名簿が両面印刷、3枚目の和田地区学校再編検討委員会委員名簿が両面印刷、最後が合同会議の席次表でホチキス留めとなっているもの。次に資料1として、表が「地区学校再編検討委員会組織図」で裏面が「地区学校再編検討委員会イメージ図」となっているものが1枚、次に資料2として「丸山地区及び和田地区の学校等再編について（経過等）」が1枚、次に資料3として、表が「小学校児童数推移見込み」で、裏面が「中学校生徒数推移見込み」となっているものが1枚、次に資料4-1として、1枚目が「統合小学校等の配置計画図」、2枚目が「小学校平面図」、3枚目が「幼保一体施設平面図」の3枚がホチキス留めとなっているもの。次に資料4-2として「丸山・和田地区統合小学校等建設工事工程表」が両面印刷となっているものが1枚、次に資料4-3として「丸山・和田地区統合小学校等建設工事進捗状況写真」が1枚、次に資料5として「丸山・和田地区学校再編検討委員会専門部会別名簿」が両面印刷となっているものが1枚、次に資料6-1として「園歌及び校歌の作詞・作曲者（案）について」が1枚、資料6-2として「丸山・和田地区統合小学校」校章デザイン募集要領（案）が両面印刷3枚でホチキス留めとなっているもの、次に参考1として「平成25年2月6日付けの意見具申書」が両面印刷で2枚がホチキス留めとなっており、これが丸山中学校と和田中学校の統合に係る意見具申

書となります。

次に参考2として「平成26年3月28日付けの意見具申書」が両面印刷で3枚がホチキス留めとなっており、これが丸山地区と和田地区の統合小学校、幼保一体施設に係る意見具申書となります。

次に参考3として「平成27年2月24日付けの意見具申書」が両面印刷で2枚がホチキス留めとなっており、これが丸山地区の幼稚園及び小学校の統合に係る意見具申書となります。

次に参考4として「平成29年10月3日付けの意見具申書」が1枚、これが保育所、幼稚園、幼保一体施設及び小学校の名称に係る意見具申書となります。

次に参考5として「南房総市地区学校再編検討委員会設置要綱」が両面印刷で2枚がホチキス留めとなっております。

最後に、前回の第29回合同会議の会議録が両面印刷で8ページまでがホチキス留めとなっております。配付資料は以上となりますので、御確認ください。

よろしいでしょうか。

それでは、次第の6報告等に移りますが、前年度から引き続き検討委員になられている方には、以前、説明した内容と重複しますので、御了承ください。

私からは(1)の「地区学校再編検討委員会について」と(2)の「丸山地区及び和田地区の学校等再編についての経過等」を説明します。

南房総市では、平成20年3月に「南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画」を策定し、その計画に沿って学校等の再編を進めてきました。

再編にあたっては、旧町村単位の地区ごとに学校再編検討委員会を設置し、検討・協議を行っています。

資料1の「地区学校再編検討委員会の組織図」を御覧ください。

地区学校再編検討委員会の委員は、行政連絡員代表、保護者代表、学校代表、学識経験者により構成されています。

丸山地区は、行政連絡員代表が4名、保護者代表が、南小PTAから4名と嶺南中PTAから2名の合わせて6名、学校代表が南小と嶺南中の校長先生の2名、学識経験者が4名となっており、合計で16名となっています。

一方、和田地区は、行政連絡員代表が4名、保護者代表が、南三原小PTAから4名、和田小PTAから4名、嶺南中PTAから2名の合わせて10名、学校代表が南三原小、和田小、嶺南中の校長先生の3名、学識経験者が4名となっており、合計で21名となっています。

オブザーバーは、それぞれの地区の市議会議員と教育委員で構成されており、丸山地区は2名、和田地区は4名となっています。

事務局は、教育委員会事務局の課長以上の者と各地区の地域センターの所長となっており、庶務は、教育総務課学校再編整備室で行います。

専門部会は、必要に応じて通学支援や校名、校歌、校章など、個別事項について検討し、再編検討委員会へ素案を示すための組織となります。

地区学校再編検討委員会から市民（地域住民や保護者等）に検討内容を周知していただくとともに、市民からの意見を集約していただき検討に反映させるような構図となっています。

地区学校再編検討委員会の所掌事務は、学校の再編時期や学校の位置、学校の名称などについて検討し、教育委員会に意見を提言するとともに、通学支援や校歌・校章などについて検討・協議することとなっています。

続いて、裏面の「地区学校再編検討委員会のイメージ図」を御覧ください。

中央に地区学校再編検討委員会があり、上に向かって地区行政連絡協議会・区会などを通じて市民へ、右に向かってPTAや保護者会・保護者を通じて市民へ、下に向かって学識経験者から市民へ、左に向かって、学校から児童・生徒・市民へ、それぞれ検討内容を周知していただくとともに、意見集約をしていただき検討に反映させるようなイメージとなっています。

続きまして、次第の6報告等の(2)「丸山地区及び和田地区の学校等再編についての経過等」について説明いたします。

資料2の「丸山地区及び和田地区の学校等再編について（経過等）」を御覧ください。

概要のみ説明させていただき、詳細については、後ほど御覧いただきたいと思えます。

まず、1つ目の「学校再編検討委員会設置」についてですが、平成23年11月に和田地区学校再編検討委員会（委員数23名）、平成23年12月に丸山地区学校再編検討委員会（委員数23名）を設置しました。

続いて2つ目の「学校等の再編」についてですが、丸山中学校と和田中学校の再編については、和田中学校の海拔が9mと低いことから、丸山中学校を使用して平成26年4月1日から嶺南中学校としてスタートしました。

幼保一体施設と小学校の再編については、建設候補地について、いろいろな議論がなされましたが、結果的には、幼保一体施設及び小学校を1園・1校とし、建設候補地は嶺南中学校隣接地となりました。

しかしながら、幼保一体施設と小学校の建設には、4～5年程度かかる見込みであったため、丸山地区においては、南幼稚園・小学校と丸幼稚園・小学校が、平成28年4月1日から統合することとなり、和田地区においては、丸山地区との統合までは現行のままとし、和田地区のみでは統合しないこととなりました。

続いて、●印ですが、これまでに丸山地区と和田地区の学校再編検討委員会から次の意見具申書が提出されています。

参考1として、「両地区の中学校再編に係る意見具申書」、参考2として、「両地区の幼稚園及び小学校再編に係る意見具申書」、参考3として、「丸山地区の幼稚園及び小学校再編に係る意見具申書」、参考4として、「保育所及び幼稚園及び幼保一体施設及び小学校の名称に係る意見具申書」となっています。

続いて、資料3の「南房総市立小学校児童数推移見込み」を御覧ください。

この表は、今年5月1日現在で、6歳以下の乳幼児数は住民基本台帳を基にし、小学校1年生以上の児童数については、学校基本調査を基に作成したものとなっています。

右側の表を御覧ください。表頭、平成30年度の列の一番下、市内小学校児童数の合計は、1,447人となっています。一番右側の平成36年度の合計は、1,102人ですので、約24%減少する見込みとなっています。

丸山地区の南小学校の行を御覧ください。

平成30年度が156人で、平成36年度が140人ですので、約10%減少する見込みとなっています。

和田地区の地区小計の行を御覧ください。

平成30年度が151人で、平成36年度が115人ですので、約24%減少する見込みとなっています。

和田地区については、表側の和田地区の和田小学校の行、表頭の小1と小2の欄を御覧いただきますと、小1が5人、小2が10人となっています。

この子どもたちが、平成31年度に小学校2年生と3年生になりますが、小2が5人、小3が10人で合わせて15人の見込みとなり、統合しなかった場合には、複式学級となる可能性があります。

現在、両地区の統合小学校及び幼保一体化施設建設事業を進めていますが、平成31年度に統合した場合の児童数は、両地区の合計で301人となり、約300人規模の小学校ができることとなります。

裏面を御覧ください。

この表は、中学校生徒数の推移見込みとなっています。

表頭の平成30年度の列を御覧ください。

今年度の市全体の生徒数は823人で、一番右側の平成42年度は478人ですので、約42%減少する見込みとなっています。

嶺南中学校の小計の行を御覧いただきますと、平成30年度が198人で、平成42年度は99人ですので、50%減少する見込みとなっています。

これは、市内全域でも減少率が一番大きく、次いで千倉中学校の44%の減少、次が白浜中学校で39%の減少となっています。

以上で、次第の6、報告等の(1)と(2)の説明を終わりますが、参考までに本委員会に係る設置要綱を参考5として添付してあります。

以上です。

進行 報告が終わりました。

御質問等があれば、御発言をお願いいたします。

なお、議事録を作成する都合がございますので、挙手の上、お名前を述べてから御発言いただきますよう御協力をお願いいたします。

<意見なし>

7 特にないようですので、次に(3)統合小学校及び幼保一体化施設建設事業について事務局から報告いたします。

事務局 それでは、次第の6報告等の(3)統合小学校及び幼保一体化施設建設事業について説明します。

現在、平成31年4月1日の開園・開校に向けて、統合小学校等建設事業を進めています。

昨年度は、10月末に造成工事が完成し、11月から建築工事、電気設備工事、機械設備工事、野球場等整備工事に着手し、野球場等整備工事は、平成30年7月27日まで、建築工事、

電気設備工事、機械設備工事は、平成31年2月28日までに完成する見込みとなっています。

各工事の請負業者ですが、建築工事は、成田市の株式会社大松建設と館山市の白幡興業株式会社の2社で構成する「大松・白幡特定建設工事共同企業体」、電気設備工事は、南房総市富浦町の幸洋電設株式会社、機械設備工事は、南房総市千倉町の安房住宅設備機器有限会社、野球場等整備工事は、南房総市杳見の株式会社加瀬建設となっています。

続きまして、資料4-1の配置計画図を御覧ください。図面の下に施設の概要、右側に模型の写真を掲載しています。図面左側の真ん中にある既存嶺南中学校を中心として、図面、上の東側に統合小学校校舎及び屋内運動場を建設し、西側に幼保一体施設を建設します。

また、南側に小学校校庭・中学校校庭・テニスコート・野球場を整備します。調整池と表記したものが国道410号沿いに2箇所ありますが、豪雨の際に一時的に雨水を池に溜め、少しずつ河川に放流することにより、河川の氾濫を防止するためのものです。

小学校校舎の構造及び延床面積は、鉄筋コンクリート造2階建て3,789㎡です。屋内運動場は、鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建て1,847㎡でバスケットボールのコートが2面とれる広さとなります。幼保一体施設は、鉄骨造平屋建て2,038㎡です。また、中学校校庭は直線で100m、1周200mのトラックとなります。

事業費の総額は、約36億4200万円です。

続きまして、2枚目の小学校の平面図を御覧ください。1階は、校務センター（職員室のことです）、メディアセンター（図書室のことです）、普通教室が1年生から3年生までが2クラスずつ、特別支援教室を3室、理科室、多目的活動室、学童保育室、プール（25m、5コース）、2階は、普通教室が4年生から6年生まで2クラスずつと共通教室を整備します。

続きまして、3枚目の幼保一体施設の平面図を御覧ください。保育室を0歳から2歳までが1クラスずつ、3歳から5歳までが2クラスずつ、預かり保育室、プール（4.5m×8.0m）、職員室、調理室、遊戯室を整備します。

現在、この計画で進んでいます。事業を進める中で今後若干の変更がでる場合もあります。

続きまして、資料4-2の「丸山・和田地区統合小学校等建設工事工程表」を御覧ください。

この工程表は、小学校校舎・屋内運動場・プール・グラウンド、裏面に、幼保一体施設・テニスコート・外構・既存中学校改修・野球場の工種で分けし、月ごとの進捗状況を示しています。工程表の右上にも記載してありますが、黒線が計画で、赤線が現在の進捗状況となり、現時点では、全ての工事が予定どおり進んでいます。

今後の予定ですが、小学校校舎は、躯体工事の完成が7月末、内外装・屋根・塗装工事等の完成が来年度の1月上旬となります。また、屋内運動場は、躯体工事の完成が5月末、内外装・屋根・塗装工事等の完成が9月末となります。裏面を御覧ください。幼保一体施設は、鉄骨工事の完成が7月上旬、屋根・内外装工事等の完成が10月中旬となります。また、野球場整備工事の完成は7月下旬となります。他の工種については、記載のとおりとなっています。

資料4-3の「丸山・和田地区統合小学校等建設工事進捗状況写真」を御覧ください。

この写真は、左側が計画配置図、右上が工事着手前写真（平成29年5月1日撮影）、右下が平成30年5月1日現在の写真となっています。

また、今後も、合同会議にて、工程表や工事写真等により、工事の進捗報告を行いたいと考

えています。

以上で説明を終わります。

進行 報告が終わりましたが、委員の皆様から御意見等ございますでしょうか。

建設に係る御質問等ございましたら。

よろしいですか。

委員 ちょっといいですか。

進行 はい。

委員 すいません。これを見る時間を3分ください。

進行 はい。

<3分経過>

進行 それでは、建設事業について、何か御意見、御質問等がございましたら、挙手の方をお願いします。

<意見なし>

では、また会議の最後の方でも、御質問等を受けたいと思いますので、進行する中で何かありましたら、また最後の方でお伺いしたいと思います。

それでは、次に進めさせていただきます。

8 (4) 第29回合同会議検討結果について事務局から報告いたします。

事務局 それでは、次第の6報告等の(4)「第29回合同会議検討結果について」報告します。

第29回の学校再編検討委員会合同会議を平成30年3月12日に行い、この時の出席委員は、丸山地区13名と和田地区19名となっています。

議事の第1号「丸山・和田地区専門部会検討状況について」検討していただきました。

通学支援部会は、4回の会議を行い、通学バスの乗降場所の設定を重点的に行いました。

校歌・校章部会は、2回の会議を行い、園歌、校歌の作詞・作曲者の人選、園章・校章の作成方法の検討を行いました。

P T A部会は、5回の会議を行い、P T A組織の構成、会費及び徴収方法、役員選考方法等の検討を行いました。

学用品部会、行事・カリキュラム部会は、3校で交流・連携を取って調整を行いました。

各専門部会の検討状況については、報告どおり御了承をいただいております。

議事の第2号「平成30年度地区学校再編検討委員会の構成案について」検討していただきました。

委員会の構成人数については、丸山地区は、昨年同様の16名、和田地区も、昨年同様の21名とすることで御承認をいただいております。

前回の会議報告は、以上となりますが、丸山地区と和田地区の委員長と副委員長に会議録を御確認いただいた後に、市のホームページに掲載しました。

以上で報告を終わります。

進行 報告が終わりましたが、委員の皆様から御意見等ございますでしょうか。

<意見なし>

9 それでは、特にないようですので、次第の7、議事に移ります。設置要綱第7条第1項の規定により、委員長に議長をお願いします。合同会議の場合には、丸山地区と和田地区の委員長に交互に議長をお願いしておりますので、今回は、丸山地区の星谷委員長に議長をお願いいたします。

議長 それでは、議長を務めさせていただきます。本日の出席委員数は、丸山地区15名、和田地区18名です。両地区とも、それぞれ過半数に達していますので、会議は成立いたします。

それでは、議事に入ります。議事の(1)「各専門部会部会員の選任について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。

事務局 それでは、議事の(1)「各専門部会部会員の選任について」説明します。

資料5を御覧ください。

専門部会については、PTAと学校に人選をお願いし、資料5のとおり推薦をいただきました。

通学支援部会ですが、南小PTAから4名、南三原小PTAから3名、和田小PTAから4名、嶺南中PTAから2名、南小学校、南三原小学校、和田小学校からそれぞれ1名ずつ、教育総務課から1名、合計で17名となります。この専門部会では、スクールバスを含め、通園・通学に係る支援について、具体的な検討を進めていただきます。

次に、校歌・校章部会ですが、南小PTA、南三原小PTA、和田小PTAからそれぞれ2名ずつ、南小学校、南三原小学校、和田小学校からそれぞれ1名ずつの合計で9名となります。

この専門部会では、園歌や校歌、また園章や校章について、その作成方法など具体的な検討を進めていただきます。

次に、裏面を御覧ください。

PTA部会ですが、南小PTA、南三原小PTA、和田小PTAからそれぞれ2名ずつ、南小学校、南三原小学校、和田小学校からそれぞれ1名ずつの合計で9名となります。この専門部会では、PTA組織や会費などの規約、PTA行事などについて、具体的な検討を進めていただきます。

最後に専門部会総括として、教育総務課(学校再編整備室)の職員5名となっています。

なお、各専門部会で検討・協議していただいた内容については、必要に応じて検討委員会の合同会議にて協議又は報告していただくこととなります。

以上で説明を終わります。

議長 ただいま事務局から、説明がありました。委員の方々から御発言願います。

委員 <御発言なし>

議長 特に無いようですので、お諮りします。

議事の(1)「各専門部会部会員の選任について」、資料5の構成案のとおりで御異議ございませんか。

委員 <異議なし>

議長 御異議ないものと認めます。よって、丸山地区及び和田地区の統合に係る専門部会の構成については、資料5のとおり決定いたしました。

議長 次に、議事の(2)「専門部会協議事項について」を議題といたします。事務局から説明を

お願いします。

事務局 それでは、議事の（２）専門部会協議事項についてですが、協議内容は、「園歌及び校歌の作詞・作曲者（案）について」と「校章の作製について」です。

まず、園歌及び校歌の作詞・作曲者（案）について説明します。

資料６－１を御覧ください。

園歌の作詞・作曲者を市内和田町柴在住の「泉 稔子（イズミ トシコ）」氏に依頼したいということですが。

泉さんは、４歳からピアノを始め、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」（東京都調布市仙川にある桐朋学園大学に併設された音楽の早期教育機関）を経て、室内楽奏者として研鑽を積み、教会音楽の他、伴奏や室内楽の分野で御活躍されています。和泉さんは、和田小児童の保護者でもあり、現在、自宅で音楽教室を開いています。

また、校歌の作詞・作曲者は、東京都在住の「加賀 清孝（カガ キヨタカ）」氏に依頼したいということですが。

加賀さんは、北海道滝川の出身で、桐朋学園大学音楽学部卒業、東京芸術大学大学院独唱科修了、文化庁オペラ研修所二期生を修了されています。現在、日本の著名なオペラ歌手、童謡歌手、作曲家として御活躍されています。校歌作曲の経験もあり、南房総市という地域に大変興味を持ってくださっているようです。

お二方とも、作詞・作曲について内諾をいただいております。

次に、「校章の作製について」ですが、昨年度までに校歌・校章部会では、公募により校章を作製することとしていましたが、その後、当該３校の校長と事務局との話し合いの中で、嶺南中学校の校章をベースに作製する案を選択肢に加えることとしました。

今後、校歌・校章部会でいずれかの案で作製することになりますので御了承いただきたいと思えます。なお、仮に公募することとなった場合は、時間的な理由から、今回、募集要領案の御承認をいただきたく提案します。

資料６－２を御覧ください。公募の場合の「校章募集要領（案）」です。校歌・校章部会において、募集要領（案）を作成しましたので、その内容について説明します。なお、この募集要領案は、（平成２５年の）嶺南中学校の校章募集要領案をもとに作成しています。

表題の「丸山・和田地区統合小学校」という名称ですが、現在、小学校の名称変更に係る条例改正の手続きを行っており、議会の議決後、嶺南小学校という名称を使用する予定です。

それでは、主なところを読み上げます。

第４条では、「募集期間」として、平成３０年７月２１日の土曜日から平成３０年９月１４日の金曜日までとしています。

第６条では、「応募方法等」として、第１号で、南房総市の在住者、在勤者、在学者及び南房総市に愛着がある者としています。

次ページを御覧ください。

第７条では、「選定方法」として、校歌・校章部会にて６点以内の候補（最優秀候補１点を含む）を選び、その中から検討委員会において決定することとしています。

第８条では、「賞及び副賞」として、採用作品となる最優秀賞には、副賞として図書カード１

万円相当を、採用候補となった優秀賞には、副賞として図書カード2千円相当を贈呈することとしています。

第10条では、「著作権等」として、第1号で採用作品等に関する著作権等については、南房総市に帰属することとしています。

校章の募集要領（案）の説明は、以上となりますが、あくまでも、今後、専門部会にて検討し、公募することとなった場合の募集要領となります。検討の結果、公募しないことも考えられますので、御理解をいただきたいと思います。

「校章の作製について」は、次回の会議にて、デザイン等を提案し、決定したいと考えています。

以上で説明を終わります。よろしく申し上げます。

議長 ただいま、事務局から説明がありました。資料6-1と6-2の2つに分かれております。

最初に6-1の「園歌及び校歌の作詞・作曲者（案）について」皆さんからの御意見、御質疑をいただきたいと思います。

委員 園歌と校歌。とても素晴らしい方々に依頼するようでございますが、料金とかそういうものは、さぞかし高いのではないんですか。いかがでしょうか。

事務局 今年度の予算についてなんです、作詞と作曲について、それぞれ30万円ずつの予算計上をしております。トータルで言いますと60万円の予算額となっております、その範囲内で支出する予定となっております。

以上です。

委員 安い高いかは別として、そういうような立派な方に素晴らしい校歌並びに園歌を作ってくださいと思います。

以上です。

議長 はい。ということで、御意見というか、御要望ということで承りたいと思います。

他にいかがでしょうか。

では、資料6-1の方は以上にいたしまして、次の6-2の方ですね。「丸山・和田地区統合小学校」校章デザイン募集要領（案）について皆様の御意見、御質疑をお願いいたします。

特にございませんでしょうか。

それでは、特にないようですので、お諮りいたします。

議事の「(2) 専門部会協議事項について」、資料6-1から6-2のとおりで御異議ございませんか。

委員 <異議なし>

議長 御異議ないものと認めます。よって、専門部会協議事項については、6-1から6-2のとおり決定いたしました。

議長 次に、議事の(3)「次回合同会議の日程について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。

事務局 次回合同会議の日程ですが、校章の選定を議題にしたいと思いますので、公募等に多少の時間を要するため、次回会議を、10月上旬頃に開催したいと考えています。

日時等の詳細につきましては、会議開催通知の発送をもって代えさせていただきます。

ますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

議長 ただいま、事務局から次回の会議について、説明がありました。

次回の合同会議は、今年の10月上旬頃に開催することで、御異議ございませんか。

委員 <異議なし>

議長 御異議ないものと認めます。

よって、次回合同会議の日程については、今年の10月上旬頃に開催することに決定いたします。

議長 以上で本日の議事が終了しましたので、その他以降については、事務局に進行をお願いします。

10 次第の8、その他ですが、事務局から3点お知らせいたします。

事務局 それでは、次第の8「その他」の1点目、「丸山地区と和田地区の閉園・閉校施設の利活用の方針について」説明します。

閉園・閉校する施設については、まずは教育委員会として利活用を判断します。教育委員会として利活用しないと判断した場合は、市の内部組織である公有財産活用検討委員会で検討・協議することとなります。

公有財産活用検討委員会では、公共施設としての活用や民間での活用、また取壊しなどの方針を決定します。

それらの段階を経て利活用案がまとまりましたら、行政連絡員会議や再編検討委員会において利活用案を説明し、その後、地区説明会等を行い、皆様から御意見をいただきたいと考えています。

現時点での市の公共施設等総合管理計画における幼稚園及び小学校施設の利活用方針を説明します。

南幼稚園の園舎及び南小学校の校舎と屋内運動場は企業誘致を含め転用する方向となっています。南三原幼稚園の園舎及び南三原小学校の校舎と屋内運動場は、平成32年度に解体撤去する計画となっています。また、南三原幼稚園の園舎は、地元から利活用の相談等もありますので、今後その方向でも検討したいと考えています。

和田幼稚園の園舎及び和田小学校の校舎は、平成32年度に解体撤去する計画となっています。和田小学校の屋内運動場は平成32年度に社会体育施設へ改修したいと考えています。

なお、利活用を検討するにあたり、借地等を含め土地を整理する必要がありますので、今年度、南三原小学校及び和田小学校等の敷地境界確定測量業務を行いたいと考えています。

[南小学校の駐車場や和田小学校の学校敷地、南三原幼稚園の敷地は借地]

その他の、1点目「閉園・閉校施設の利活用の方針について」は、以上です。

2点目は、報償費の支払いについてですが、設置要綱第10条の規定により、委員等に支給する報償金は、日額1,000円となっています。夜間お集まりいただき、少額で大変申し訳ございませんが、御了承いただきたいと思えます。

報償金は、上半期と下半期の2回に分けて、口座振込とさせていただきます。

なお、本委員会の報償金については、所得税の源泉徴収を行っていませんが、市から他の報酬等があった場合は、合算された金額で源泉徴収票が送付されますので、御了承いただきたいと思います。

3点目は、本日の会議録についてですが、次回の会議までに期間があきますので、両地区の委員長と副委員長に会議録を御確認いただき、市のホームページに掲載しますので、御了承いただきたいと思います。

以上です。

進行 事務局からは、以上となりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

建設工事を含め、今日の会議を通して御質問等ございましたら、お願いします。

<意見なし>

よろしいですか。

特にないようでしたら、この検討委員会での検討・協議内容につきまして、各団体の会議等で報告していただければと思います。

以上で、丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第30回合同会議を閉会いたします。

御協力ありがとうございました。

<閉会>